

抗生剤について学ぶ

7月6日(木)、院内の感染症研修会にて、厚生連高岡病院の感染症専門医、狩野恵彦先生より「抗生剤の適正使用」について、ご講義をいただきました。

講義では、身近な細菌やウイルスを例に挙げ、感染源に対して適正な治療を選ぶことで薬剤耐性のリスクを避けることや、今後の感染への治療の選択肢として、限られた抗生剤を大切にしておくことの重要性が分かりやすく学べました。

ちょっとした熱や痛み止めとして、軽い気持ちで薬を飲んでしまいうえすが、安易に抗生剤を使ったことや間違えた使用法で、薬剤に対して耐性菌ができてしまい、今後その薬が使えないということが起こらないよう、医療従事者としてだけでなく、自分自身や家族の健康の為にも関心を持つべきだと、この研修会を通して改めて感じました。

(栄養科 山本 美穂)

関節リウマチ講義を受けて

先日、今年赴任された中島先生の関節リウマチに関する講義が行われました。その中で以下のようなお話がありました。この病気は女性に多く100人に1人程度が発症する大変身近な疾患で、関節炎を主徴とする原因不明の慢性炎症性疾患です。関節のこわばりから始まり関節痛・腫脹そして骨びらんから関節破壊に至ります。活動性が高い状態が続くと関節破壊の進行や生命予後の悪化を招くため早期診断、早期治療が大変重要となってきます。最近では治療薬の進歩により早期治療で寛解になる可能性が出てきているそうです。

ご自身や身近な方が関節リウマチのご心配をされているようでしたら、中島先生の受診をお勧め致します。

(放射線技術科 大石 吉規)

久しぶりの慰安旅行

『女子旅 in 富山 GO!』
前田薬品工業では、スタッフさんにピーカーが割れる心配をされるほど力強く攪拌して、各々好みの香りのハンドクリーム作りを体験。工場見学中には、投薬瓶のキャップ締め対決で我を忘れて盛り上がった女子9名。高揚した気分のまま、一度は行ってみたいかった『五万石本店』で上品なランチをいただき、充実の旅は終わりました。

(医事課 高橋 理紗)

『リフレッシュの旅!!』
能作で箸置きを作ってきました。型作りから最後の磨きまで2時間程で完成しました。最後に名前をローマ字で刻印しましたが、MORIOKAと入れるはずが印が小さくOと間違えてQを押してしまい、MORIQKAになっていることに後から気づき大笑い!一生使えて笑える箸置きでいい思い出になりました。

(透析看護師 森岡 真由美)



↑ハンドクリーム作り ↑五万石のお刺身定食 ↑能作体験の箸置き

A S A N A G I 瓦版

◆お知らせ◆

- ・新型コロナウイルス感染予防のため、**10月1日現在、面会を制限**させて頂いております。
※ 面会時間：14時～16時 1回2名まで 15分以内
18歳以上の同居の方(高校生はご連絡ください)、**キーパーソンのみ**
- ・**特定健診は10月31日まで**になります。
- ・**12月まで高岡市ガン検診の期間**になります。
- ・**高岡市高齢者インフルエンザ予防接種が始まります。**
※ご希望の方は受付時にお知らせ下さい!

『乗り鉄プラス城めぐり』 医師 岩井中 陽一

4年前に当院赴任してきたときの自己紹介で、趣味は“昼は乗り鉄、夜は呑み鉄”と書きましたが、今回はその一部をご紹介します。当院は透析患者さんが多く集まっている病院ですので、仕事の上からも透析専門医を維持することが必須となります。そのため、毎年の日本透析医学会総会に参加して、最新の治療の流れに置いて行かれないように注意しています。コロナパンデミックのため2年間のブランクがありましたが、流行が落ち着いてからは実際に総会出席してそのついでにアチコチ回ってきました。

昨年(令和4年)の総会は横浜で開催されましたので、帰りに伊豆箱根鉄道で北条家関連の歴史散策をしました。蛭ヶ小島の頼朝と政子(NHK大河では大泉洋と小池栄子)の銅像の後ろから富士山を眺めたり、眞珠院の八重姫(大河ではガッキー!)御堂を廻り、最後は修禅寺まで足を伸ばして幽閑謀殺された範頼や頼家に思いをはせて来ました。

今年(令和5年)の総会は神戸で開催でしたので、ついでに福知山線特急を利用して福知山城を見てきました。明智光秀(NHK大河では長谷川博己)が築城した城で、石垣に墓石などを流用した“転用石”が有名です。モチロン写真を撮りまくってきました。

このように鉄道旅は令和日本の3次元空間をアチコチ連れて行ってくれますし、城・歴史史跡めぐりは時間軸の空想移動を手伝ってくれますので、はまるとやめられなくなります。

皆さんも乗り鉄から始められてはいかがでしょうか。



れんこんつくねの照り焼き

【材料】2人分

鶏むねひき肉	180g	ゴマ油	大さじ1杯
れんこん	100g	醤油	大さじ1杯
玉ねぎ	50g	みりん	大さじ1杯
生姜(すりおろし)	大さじ1杯	酒	大さじ1杯
片栗粉	大さじ1杯	砂糖	小さじ1杯
塩	小さじ1杯	白炒りゴマ	少々
こしょう	少々		

【作り方】

- ① れんこんは半分をすりおろし、半分をみじん切りにしておく
- ② 玉ねぎをみじん切りにする
- ③ ポウロンひき肉、①と②を加えよく混ぜ合わせ、(A)を入れてさらに混ぜる
- ④ 4等分にして丸めて、ゴマ油で中火に火が通るまで両面焼く
- ⑤ (B)の調味料を加えて強火で照りをつける
- ⑥ 白炒りゴマをふりかける

【ポイント】

- ★ れんこんをすりおろすと、もちもちとした食感になります
- ★ れんこんを粗みじんにすると、シャキシャキした食感が楽しめます

【1人あたり】エネルギー：289kcal 塩分：1.6g

七夕まつり

あさなぎ病院では毎年恒例となっている七夕まつりが今年も開催されました。笹の葉にはカラフルな短冊が飾り付けられ、スタッフや患者さまの様々な願い事が綴られていました。病棟では、美子医師と織姫・彦星に扮したスタッフで患者さま一人ひとりにお菓子配りと写真撮影を行いました。

コロナ禍で病院内の様々なイベントを自粛していましたが、これからは今回の七夕まつりの様な皆さんの楽しめるものをどんどん行いたいですね。

(リハビリテーション科 主任 原子 直大)



人事異動となりました

9月より事務長を務めております、荒谷です。2年半、長田前事務長のもと次長として働いてきました。業務の円滑な運用に努め、現場で患者さんと向き合うスタッフをサポートして参りますので、よろしくお願い致します。

(事務長 荒谷 昌孝)

職員の皆様、毎日お疲れ様です。この度、関連会社Kメディカルサービスの代表取締役を拝命することになりました。今後の不安、悩みもございませうが新たな気持ちで事務・訪問看護・運転課の方々と一丸となり、あさなぎ病院のため、発展のお手伝いができるよう精進していきたいと思っております。

(医事課 中山 智生)

患者さんは病状が落ち着いてきたら「家に帰りたい」と思うのが普通であり、そんな人として当たり前の願いを叶え、支え、医療を実践出来るのが訪問看護です。訪問看護を必要とされる全ての方が対象です。

夜間や祝日、休日のオンコール対応可能なサービスもあります。お問い合わせは

0766-30-3580迄。
(あさなぎ訪問看護ステーション 管理者 山本 優子)

～ご案内～ 糖尿病教室の開催について

第5回 12月6日(水) 10:00～
第6回 2月7日(水) 10:00～
★詳しくは、受付 本町までお問い合わせください。

～新任紹介～

(7月)
運転手 室谷 学
(8月)
医事課 坂井 敬子
透析センター 中原 和輝(臨床工学技士)
(9月)
運転手 牧野 一宏

～スタッフ募集～

現在あさなぎ病院では、病棟正看護師、病棟看護助手、訪問看護師、作業療法士を募集しております。お問い合わせは、総務課 荒谷までお願いいたします。
☆電話番号 0766-22-5445